

Title	表紙、プログラム、奥付
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 29
Issue Date	2014-10-18
Type	Others
Text version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10119/12381">http://hdl.handle.net/10119/12381</a>
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	

# 講演要旨集

研究・技術計画学会

第29回 年次学術大会

2014.10.18～19 滋賀

第 29 回 年 次 学 術 大 会

# 講 演 要 旨 集

2014 年 10 月 18 日 (土) ~ 19 日 (日)

立命館大学びわこ・くさつキャンパス

滋賀県草津市野路東 1-1-1 〒 525-8577

研究・技術計画学会

*The Japan Society for Science Policy and Research Management*

# 一般講演要旨集

10月18日(土) 9:30~10:15

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)
	一般講演 技術経営(戦略・R&Dマ ネジメント)①  座長 勝本 雅和	一般講演 技術経営(戦略・R&Dマ ネジメント)②  座長 仙石 慎太郎	一般講演 産官学連携・地域①  座長 細野 光章	一般講演 <ホットイシュー> 大学および企業におけ るイノベーション教育の 最前線  座長 林 和弘	一般講演 <ホットイシュー> 研究成果を効果的にイ ノベーションに結びつけ る方法論①  座長 福田 佳也乃	一般講演 <ホットイシュー> 第5期科学技術基本計 画策定に向けた政策分 析①  座長 吉澤 剛	一般講演 技術経営(事例・ビジネ スモデル・事業化)①  座長 枝村 一磨	一般講演 研究・イノベーション政 策①  座長 小沼 良直	一般講演 分析と評価①  座長 富澤 宏之	イノベーション交流分科 会企画セッション  座長 旭岡 勲峻
9:30	1A01 大阪大学「共同研究 講座・協働研究 所」制度がもたら す効果 ○奈良 敬, 徳増 有治, 馬場章夫 (阪大)	1B01 ラディカルイノ ベーション発生の 規定要因:理論と 実証 ○濱岡 豊(慶 大)	1C01 中国の産学官連携 推進の特徴 ○細川洋治 (NISTEP)	1D01 バックキャストを 用いたライフス タイルデザイン手 法とその有効性 ○古川柳蔵(東北 大)	1E01 触媒作用によるブ レイクスルー型イ ノベーションの創 出 ○城村麻理子, 鈴 木 浩(日本経済 大)	1F01 科学技術政策に医 療制度はどう影響 しうのか?;現 状と課題 ○齋藤裕美(千葉 大)	1G01 異分野融合型研究 拠点の研究開発マ ネジメントの実践 とその効果 ○安西智宏, 木村 紘子, 木村廣道 (東大), 仙石慎 太郎(京大)	1H01 産総研の今後の研 究戦略—フラウン ホーファー型研究 機関への脱皮 ○中村吉明(産総 研)	1I01 日本の生命科学・ 医学分野のスター 研究者におけるサ イエンティフ ケージ分析 ○福澤尚美 (NISTEP), 依田 高典(京大)	9:30 「ブレクスルー の研究成果」につ いて ○旭岡勲峻(社会 インフラ研究セン ター) ○鈴木 浩(日本 経済大) ○岩本 隆(慶 大) ○大西 徹(ブレ イクスルー経営研 究センター) ○澤泉重一(富山 県立大)  討論
9:45	1A02 承認情報を用いた 医薬品ライフサイ クルマネジメント の調査研究 ○早乙女周子, 橋 寺由紀子, 山本博 一(京大)	1B02 日本と韓国におけ るオープン・イノ ベーション② ○濱岡 豊(慶 大)	1C02 次世代製造技術の 研究開発:中国の 事例 ○周 少丹, 岡山 純子(JST)	1D02 中長期インター シップについての 考察—「産学協働 イノベーション人 材育成コンソーシ アム事業」を事例 に— ○桑島修一郎(京 大)	1E02 自由形式申請書や 他薦状を用いた異 業連携事例を参 考に一評価対象者 と評価者間におけ るTransformative Researchを見越した 理解共有とイノ ベーション資源と しての失敗に關 する線引きのため の評価システムの 可能性と課題— ○鈴木羽留香(立 命館大)	1F02 健康長寿社会の実 現に向けた疾病の 予知予防・診断・ 治療技術の俯瞰 ○小笠原敦, 重茂 浩美(NISTEP), 鷲見芳彦(北大/ NISTEP), 林 和 弘(NISTEP), 古 川貴雄(共立女子 大), 小柴 等 (NISTEP), 森 薫(慶大/ NISTEP), 大阿久 瑤子(NISTEP)	1G02 日本国内外におけ る天然ガス自動車 の普及モデルの構 築 ○祝 悦, 時松宏 治(東工大), 松 本光崇(産総研)	1H02 米国における研究 開発エコシステム の特徴と最近の科 学技術政策動向 ○遠藤 悟(日本 学術振興会/ NISTEP)	1I02 技術文書に見るイ ンターネット要素 技術の動向に關 する研究 ○藤井章博(法政 大)	9:45
10:00	1A03 素材産業における 共同研究ネット ワークの時系列分 析 ○藤 祐司(東工 大), 永松陽明 (横浜市立大)	1B03 ムーアの法則とそ の経済的評価—日 本の半導体産業に 対する省察— ○井上敬介(北陸 先端大)	1C03 次世代製造技術の 研究開発:米国・ 全米製造イノベ ーションネットワ ークの事例 ○岡山純子, 樋口 壮人(JST)	1D03 教育のイノベ ーションに關する —考察—高度情報 社会における教 育とは?— ○小粥幹夫(日本 経済大)	1E03 研究成果とイノ ベーションの橋渡 し(「フェーズ II」の機能)—持 続可能な素材利用 システムのモデル 化の事例から— ○醍醐市朗, 後藤 芳一(東大)	1F03 健康長寿社会の実 現に向けた重要疾 病に關する大規模 医療情報の活用の 検討 ○重茂浩美, 小笠 原敦(NISTEP), 佐藤直市, 安藤廣 美, 鮎川勝彦, 福 村文雄, 眞名子順 一, 久川広則, 古 谷秀文(飯塚病 院), 増本陽秀	1G03 台湾半導体産業に おける設計企業 (ファブレス)の 発展 ○岸本千佳司(国 際東アジア研究セ ンター)	1H03 研究・技術政策な ど表現のための政 策金融と情報の非 対称性の軽減に關 する研究 ○亀谷祥治(対外 経済貿易大)	1I03 児童生徒期の体験 と科学技術に對 する意識に關する 統計解析 ○細坪護拳 (NISTEP)	10:00

10:15

10:15

10月18日(土) 10:15~11:15

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
10:15	<b>1A04</b> How Startups Explore and Exploit Dynamic Instant Innovation (DII) from Experiment to Implementing New ○福島正義, 岡野康弘, 藤田美幸, 高山 誠 (新潟大)	<b>1B04</b> Fusion R&D and research teams in an interdisciplinary-oriented institute — A bibliometric approach ○Avila-Robinson Alfonso, 仙石慎太郎 (京大)	<b>1C04</b> 次世代製造技術の研究開発: 英国の事例 ○津田憂子 (JST)	<b>1D04</b> 東大 GCLの学生イノベーション力の育成活動 ○木戸冬子, 國吉康夫 (東大)	<b>1E04</b> 一気通貫型イノベーション (国プロ・産学連携による植物バイオポリマーの創生) ○中澤慶久 (阪大/日立造船), 鈴木伸昭, 武野真也, 奈良 敬 (阪大), 後藤芳一 (東大)	<b>1F04</b> 「糖尿病の予知・予防」に係る政策オプションの作成 ○尾花尚弥 (三菱総研), 黒田昌裕 (JST), 出口弘 (東工大), 小笠原敦, 重茂浩美 (NISTEP), 星野悠哉 (JST), 河合毅治, 大橋毅夫, 土谷和之, 中尾杏子 (三菱総研)	<b>1G04</b> 中国自動車業界のOEM/OBM比率と業績に関する研究—中国第一汽車の事例— ○高山 直, 劉海山, 高山 誠 (新潟大)	<b>1H04</b> 中小企業イノベーション促進のための新たなチャレンジ—韓国事例報告— ○林 永周 (立命館大)	<b>1I04</b> M&Aの株価効果に関する実証分析 ○上野修平, 梶山朋子, 大内紀知 (青学大)	企画セッション 続き	10:15
10:30	<b>1A05</b> ナノテクノロジー分野における技術進展に関する研究—論文引用解析による検討— ○梅澤朋一, 藤村修三 (東工大)	<b>1B05</b> 先進国の製造業の将来: 何が語られているのか? ○西尾好司 (富士通総研)	<b>1C05</b> 産学連携に対する評価方法の研究 ○永松陽明 (横浜市立大), 藤 祐司 (東工大), 渡辺 肇 (横浜市立大)	<b>1D05</b> 討論	<b>1E05</b> 非上場創業ベンチャーの価値創造に関する分析研究 ○櫻井満也, 柿原浩明, 仙石慎太郎 (京大)	<b>1F05</b> 第5期科学技術基本計画に向けた地域科学技術イノベーション政策の課題と展望 ○岡本信司 (文科省)	<b>1G05</b> 中国・韓国・日本の自動車部品相互依存構造の分析 ○馬場敏幸 (法政大)	<b>1H05</b> 技術革新と経済発展の循環と相関 ○弘岡正明 (テクノ経済研究所)	<b>1I05</b> 知識間距離のポートフォリオーマルチエージェント・シミュレーションを通して— ○河村竜幸 (キヤノンマシナリー), 伊佐田文彦 (関西大)		10:30
10:45	<b>1A06</b> カーナビゲーションシステム企業における製品開発戦略 ○富田純一, 野中 誠, 山口裕之 (東洋大)	<b>1B06</b> 研究不正の与信管理によるリスクマネジメント ○竹澤慎一郎 (ゼネラルヘルスケア)	<b>1C06</b> 自動車産業における産学共同研究の実証的考察 ○齋藤裕美 (千葉大/NISTEP), 隅藏康一 (政策研究大学院大/NISTEP)	<b>一般講演 〈ホットイシュー〉 研究開発の「成果」を問い直す</b> <b>座長 林 和弘</b> <b>1D06</b> 「高炭素金縛り」を解く「共進化」型研究開発プロジェクトの成果検証—JST-RISTEX環境・エネルギー領域の事後評価を事例に— ○重藤さわ子 (東工大), 堀尾正毅 (龍谷大)	<b>1E06</b> オントロジー工学に基づく、低環境負荷のライフスタイルにおける心豊かさの構造への考察 ○岸上祐子, 古川柳藏, 須藤祐子 (東北大), 溝口理一郎 (北陸先端大), 石田秀輝, 若林雄介 (東北大)	<b>1F06</b> 科学研究プロジェクトの動機は研究活動をどのように特徴づけるのか?—Hitotsubashi-NISTEP-Georgia Tech科学者サーベイから— ○伊神正貴 (NISTEP), 長岡貞男 (一橋大)	<b>1G06</b> 中国及び日本の不動産情報サイトと賃貸住宅仲介業に関する比較分析—020ビジネスモデルの中日比較検証— ○王 志豪, 高山直, 高山 誠 (新潟大)	<b>1H06</b> 科学技術政策調整・審議機構の日韩比較を通じた政策運営の争点分析 ○李 鍾律, 鄭宙鎬, 崔 東赫 (韓国科学技術企画評価院)	<b>1I06</b> NEDO追跡調査による成功要因分析 ○沼田光紗, 一色俊之, 保坂尚子, 佐藤嘉晃, 染宮昭義 (NEDO)		10:45
11:00	<b>1A07</b> 極超音速ビジネスジェットの経済性評価モデル構築に関する研究 ○竹岡崇陽 (みずほ情報総研), 湊宣明, 小林冬馬, 遠藤一輝 (慶大), 田口秀之, 安田大介 (JAXA), 米井佑輔	<b>1B07</b> 海外R&D拠点の知識吸収とパフォーマンス ○村上由紀子 (早大)	<b>1C07</b> 発表中止	<b>1D07</b> STI政策へのパブリックエンゲージメント: 「再生医療」と「夢ビジョン2020」を対象に ○吉澤 剛 (阪大), 加納 圭 (滋賀大), 工藤充 (京大), 菅万希子 (帝塚山大), 前波晴彦 (鳥取大), 水町衣里 (京大)	<b>1E07</b> 社会的期待との邂逅に基づく研究開発戦略立案の検討: 「都市から構築するわが国の新たなエネルギー需給構造」を例として ○中村亮二, 鈴木至, 斎藤広明, シンジャロ, 馬場寿夫, 関根 泰, 笠木伸英, 黒田昌裕, 吉川弘之 (JST)	<b>1F07</b> エビデンスベースの政策形成に向けた取組の課題と展望—SciREXと科学技術イノベーション政策— ○赤池伸一, 坂下鈴鹿 (文科省)	<b>1G07</b> 心豊かな暮らしのかたちの構造分析—評価グリッド法を用いて— ○小川敬輔, 古川柳藏 (東北大)	<b>1H07</b> Horizon 2020における欧州技術プラットフォームを活用した官民パートナーシップ ○徳田昭雄 (立命館大)	<b>1I07</b> NEDOプロジェクトにおける事後評価結果から得られるプロジェクトマネジメントに関する考察 ○中村英央, 保坂尚子, 佐藤嘉晃 (NEDO)		11:00

11:15

11:15

10月18日(土) 11:15～11:45

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
11:15	1A08 ゲノム情報解析産業における新製品開発の方向性と間接競合が及ぼす役割 ○岡野康弘, 藤田美幸, 福島正義, 高山 誠 (新潟大)		1C08 中小企業の産学共同研究: アンケート調査の分析 ○能見利彦 (経産省)	1D08 研究成果の類型化による「社会実装」の道筋 ○茅 明子, 奥和田久美 (JST)	1E08 討論	1F08 討論	1G08 ポジティブ制約を応用したテクノロジーがライフスタイルに与える影響 ○太田貴仁, 古川柳蔵 (東北大)	1H08 規制が企業の研究開発活動に及ぼす影響 ○古澤陽子, 枝村一磨, 隅藏康一 (NISTEP)		企画セッション 続き	11:15
11:30				1D09 討論							11:30
11:45											11:45

10月18日(土) 12:30～12:45

総会

1階 プリズムホール

10月18日(土) 12:45～13:15

学会賞・論文賞 表彰式, 表彰者講演

1階 プリズムホール

10月18日(土) 13:15～13:45

会長講演

山本 眞一 (本学会会長)

1階 プリズムホール

10月18日(土) 13:45～14:15

特別講演

原山 優子 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議常勤議員)

1階 プリズムホール

10月18日(土) 14:30～17:45

企画セッション

「今後の学会のあり方について」

1階 プリズムホール

10月18日(土) 18:00～20:00

懇親会

ユニオンスクエア 2階

10月19日(日) 9:30~10:30

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
	一般講演 技術経営(戦略・R&Dマ ネジメント)③  座長 板谷和彦	一般講演 分析と評価②  座長 林 隆之	一般講演 <ホットイシュー> 大学・公的研究機関に おける若手研究者の育 成  座長 山下泰弘	一般講演 国際(競争と協調)  座長 馬場敏幸	一般講演 <ホットイシュー> 研究成果を効果的にイ ノベーションに結びつけ る方法論②  座長 阪 彩香	一般講演 <ホットイシュー> 第5期科学技術基本計 画策定に向けた政策分 析②  座長 赤池伸一	一般講演 技術経営(事例・ビジネ スマodel・事業化)②  座長 早乙女 周子	一般講演 イノベーション・起業  座長 吉岡(小林)徹	一般講演 <ホットイシュー> 第5期科学技術基本計 画策定に向けた政策分 析③  座長 遠藤 悟	JWSE企画セッション  座長 吉祥瑞枝	
9:30	2A01 多国籍企業の途上 国での知財創出— 中国、タイのケー ス— ○近藤正幸(横国 大)	2B01 大学研究者の研究 目的・段階及び利 用研究費の変遷 ○細野光章 (NISTEP/東工 大), 伊藤 祥 (JST), 岡部康 成(浜松学院 大), 神里達博 (阪大), 倉田健 児(NEDO), 渡邊 英一郎(NISTEP)	2C01 リサーチアドミニ ストレーターの研 修教育プログラム ○中島一郎(早 大)	2D01 科学技術分野にお ける国際ビッグプ ロジェクトの立ち 上げとその意義の 変遷に対する考察 —巨大施設の建 設・運用を伴う既 存プロジェクトか らの示唆— ○山下恭範(文科 省), 井上 敦, 三石祥子(政策 研究大学院大)	2E01 NEDO実用化ドキュ メントから見たナ ショナルプロジェ クトの成功要因に ついて ○竹下 満, 吉田 朋夫, 一色俊之, 山下 勝(NEDO)	2F01 サイエンス・リン ケージ手法を用い た科学依拠型産業 の時系列分析 ○玉田俊平太(関 西学院大), 内藤 祐介(人工生命研 究所), 玄場公則 (立命館大)	2G01 知的財産情報によ る製品ライフサイ クルとアーキテク チャの定量分析 ○中尾武寿(名古屋商科大), 伊佐 田文彦(関西大)	2H01 ベンチャー介入型 バイオ・オープン イノベーションの オプションゲーム 分析 ○藤原孝男(豊橋 技術科学大)	2I01 第10回科学技術予 測調査 ○小笠原敦, 横尾 淑子(NISTEP), 七丈直弘	9:30 未来を支える女性 エンジニア ○小林信一(国立 国会図書館) ○鹿野憲子(NPO 日本P・E・F E試 験協議会) ○中田喜文(同志 社大) ○弘岡正明(テク ノ経済研究所) ○山田 理(産総 研) ○若月 聡(東京 理科大/東邦大/ 日大) ○吉祥瑞枝 (JWSE)	
9:45	2A02 企業における女性 研究者の雇用と特 許出願行動 ○枝村一磨 (NISTEP), 乾 友彦(学習院大)	2B02 特許における科学 論文引用の機能に ついて:引用のカ テゴリ化による 分析 ○富澤宏之 (NISTEP)	2C02 名古屋大学にお ける若手研究者お よび若手研究支援 者の育成に向けた取 組み ○天野優子(名 大)	2D02 欧州規制による技 術開発の波及と製 品設計の変化 ○鎌 瑞恵(東北 大)	2E02 技術アーキテク チャ分析の提案と 周辺研究課題 ○能見利彦(経産 省)	2F02 SBIR被採択者の日 米比較—日本はど こでイノベーショ ン政策を誤ったか ○山口栄一(京 大), 藤田裕二 (ターンストーン リサーチ)	2G02 イノベーション・ バリューチェーン のレジリエンス評 価(2)—ICTの二 面性 ○渡辺千帆(シン ガポール国立大)	2H02 新技術分野にお ける技術者コミュニ ティの形成と技術 標準 ○今井寿子(立命 館大)	2I02 第10回科学技術予 測調査—マテリア ル・デバイス・プ ロセス分野— ○蒲生秀典 (NISTEP)	9:45	
10:00	2A03 新興市場向け製品 の第3国開発 ○近藤正幸(横国 大)	2B03 論文著者IDによる 研究者を単位とし た計量書誌学的分 析 ○川島浩善, 富澤 宏之(NISTEP)	2C03 科学研究への若手 研究者の参加と貢 献— Hitotsubashi- NISTEP-Georgia Tech科学者サーベ イから— ○伊神正貫 (NISTEP), 長岡 貞男(一橋大), John P. Walsh (ジョージア工科 大)	2D03 国際ビッグプロ ジェクトの設立及 び運営における課 題について—天文 学分野の国際ビッグ プロジェクトの 事例調査— ○井上 敦, 三石 祥子(政策研究 大学院大), 山下 恭範(文科省)	2E03 産学共創ソーシャ ルイノベーション の深化に向けて ○福田佳也乃, 吉 川誠一(JST)	2F03 イノベーション理 論の基盤としての 知識構造の可視化 ○藤田裕二(ター ンストーンリサー チ), 川口盛之助 (盛之助), 山口 栄一(京大)	2G03 イノベーション・ バリューチェーン のレジリエンス評 価(3)—ICT大国 の同質性・異質性 ○渡辺千帆(シン ガポール国立大)	2H03 中小製造企業の独 自技術の醸成と事 業化の実証研究 (その1) ○櫻井敬三(日本 経済大)	2I03 第10回科学技術予 測調査「宇宙・海 洋・地球・科学基 盤」分野 ○横尾淑子, 小笠 原敦(NISTEP)	10:00	
10:15	2A04 民間企業へのアン ケート調査に基づ く研究開発・イノ ベーションの課題 ○隅藏康一, 枝村 一磨, 福澤尚美, 古澤陽子 (NISTEP)	2B04 特許による科学論 文引用を利用した 日本の研究開発の 特徴についての分 析 ○吉永大祐, 調麻 佐志(東工大)	2C04 研究者育成にお ける「科学と社会」 教育の取り組み— 総合研究大学院大 学の事例 ○標葉隆馬, 飯田 香穂里, 中尾 央, 菊池好行, 伊 藤憲二, 平田光 司, 長谷川真理子 (総研大)	2D04 中国における公的 研究機関の現状 ○古谷真帆(東 大)	2E04 イノベーション・ プロセスにおける コーディネート活 動の実態調査とそ の分析 ○西川洋行(県立 広島大)	2F04 医薬品産業にお ける科学技術イノ ベーション政策の 最適解—米国SBIR プログラムがもた らした驚愕の経済 効果 ○山本晋也(同志 社大), 山口栄一 (京大)	2G04 宇宙旅行の市場予 測 ○池島佑介, 玄場 公規(立命館大)	2H04 プロダクト・イノ ベーションとプロ セス・イノベー ションの共進化 ○小沢一郎(専修 大)	2I04 第10回科学技術予 測調査—ICT分野 の成長の方向に関 して ○七丈直弘, 村田 純一, 野村 稔 (NISTEP)	10:15	

10:30

10:30



10月19日(日) 10:30～11:30

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
10:30	<p><b>2A05</b> アンケート調査による企業のイノベーション意識の分析 ○小松康俊(日本経済大), 大来雄二(金沢工大), 伊藤裕子(NISTEP)</p>	<p><b>2B05</b> ライフサイエンス分野研究動向の可視化 ○調麻佐志(東工大)</p>	<p><b>2C05</b> 大学等における優秀な若手研究者のリテンション・マネジメント ○丸山浩平(早大)</p>	<p><b>2D05</b> 「科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」の推進に向けた試行的実践」調査研究結果からの示唆 ○三石祥子, 井上敦(政策研究大学院大), 山下恭範(文科省)</p>	<p><b>2E05</b> 次世代ものづくり基盤技術の俯瞰に向けた検討 ○岡山純子, 有本建男, 高島洋典, 宮下 哲, 馬場寿夫, 島津博基, 緒方 寛, 豊内順一, 飛田浩之, 福田佳也乃, 己斐裕一, 北場 林, 中山智弘, 古川雅士, 浅野佳那(JST)</p>	<p><b>2F05</b> Evaluation of Small Business Innovation Research Programs in Japan ○井上寛康(大阪産業大), 山口栄一(京大)</p>	<p><b>2G05</b> SSCMにおけるパートナーシップに関する研究 ○松浦清一, 伊佐田文彦(関西大)</p>	<p><b>2H05</b> 中小製造企業が中国で成功するための必要条件 ○櫻井敬三(日本経済大)</p>	<p><b>2I05</b> 第10回科学技術予測調査—環境・資源・エネルギー分野 ○村田純一, 浦島邦子, 小笠原敦(NISTEP)</p>	<p>企画セッション 続き</p>	10:30
10:45	<p><b>2A06</b> 事業化を見据えた研究開発の取り組み活動について—循環社会構築型光触媒産業創成プロジェクトを事例に— ○森 一也, 池田洋子, 高木雅敏, 土屋裕子, 山野慎司, 安居 徹(NEDO)</p>	<p><b>2B06</b> 自動車産業における協力会の変化 ○佐藤政行, 櫻井敬三(日本経済大)</p>	<p><b>2C06</b> 何が大学院生の研究意欲を高めるのか? ○金間大介(北海道情報大)</p>	<p><b>2D06</b> 発表中止</p>	<p><b>2E06</b> 社会的期待に応える研究開発戦略立案—CRDSにおける2つのアプローチ— ○前田知子, 中村亮二, 中本信也, 豊内順一, 飛田浩之, 嶋田一義, 庄司真理子, 岩城拓, 笠木伸英, 吉川弘之(JST)</p>	<p><b>2F06</b> 不確実性の高いイノベーション創出のための科学技術政策 ○玄場規規(立命館大)</p>	<p><b>2G06</b> 不確実な需要に対する最適ナリアル・オプション行使のための生産量の特性について ○久米克典, 藤原孝男(豊橋技術科学大)</p>	<p><b>2H06</b> 中小企業のイノベーション促進政策の方法と効果 ○名取 隆(立命館大)</p>	<p><b>2I06</b> 第10回科学技術予測調査：サービス化社会分野 ○小柴 等, 林和弘, 小笠原敦(NISTEP)</p>		10:45
11:00	<p><b>2A07</b> 研究開発組織が新展開志向に転換する過程に関する事例研究 ○新村成彦, 小坂満隆(北陸先端大)</p>	<p><b>2B07</b> NEDOプロジェクトから生まれた「NEDOインサイド100製品」に関するインパクト評価に関する研究 ○木村紀子, 山下勝, 一色俊之, 吉田朋央, 竹下 満(NEDO)</p>	<p><b>2C07</b> 海外企業でのインターンシップで学生を実務練習 ○桑原 裕(GVIN)</p>	<p><b>2D07</b> 国際的な研究交流における多様性 ○依田達郎, 大竹裕之(未来工研)</p>	<p><b>2E07</b> 討論</p>	<p><b>2F07</b> 特許・企業情報のマイクロ・マクロツール「日本知図」の開発(1) ○内藤祐介(人工生命研究所), 相馬 亘, 藤田裕二(日大), 治部真理(OECD/JST), 西田正敏(人工生命研究所)</p>	<p><b>2G07</b> サードプレースを包含したサービスビジネスモデルの可能性 ○杉山大輔, 白肌邦生, 小坂満隆(北陸先端大)</p>	<p><b>2H07</b> 発表中止</p>	<p><b>2I07</b> 科学技術予測調査速報(7)社会基盤分野 ○林 和弘, 辻野照久, 蒲生秀典, 浦島邦子, 小柴等, 小笠原敦(NISTEP)</p>		11:00
11:15	<p><b>2A08</b> PMコンピテンシーと新規事業 ○堀江宣裕, 井川康夫(北陸先端大)</p>	<p><b>2B08</b> NEDOプロジェクトが人材育成に与える影響とその分析手法 ○吉田朋央(NEDO), 大竹裕之(未来工研)</p>	<p><b>2C08</b> 討論</p>			<p><b>2F08</b> 特許・企業情報のマイクロ・マクロツール「日本知図」の開発(2) ○相馬 亘(日大), 内藤祐介(人工生命研究所), 藤田裕二(日大), 治部眞里(OECD/JST), 西田正敏(人工生命研究所)</p>	<p><b>2G08</b> 中国における次世代自動車の普及に影響する技術的・政策的・社会的要因の分析 ○趙 偉琳(富士通総研)</p>	<p><b>2H08</b> 「クラウドイノベーション」の誕生：群衆が生み出すイノベーションの利点と課題 ○中田行彦(立命館アジア太平洋大)</p>	<p><b>2I08</b> 討論</p>		11:15

11:30

11:30

10月19日(日) 11:30~12:30

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
11:30	<p>2A09 生活支援ロボット分野における国際標準化及び認証に関する研究 ○上條由紀子(金沢工大), 橋爪泰夫(橋爪特許事務所)</p>			<p>立命館テクノロジー・マネジメント研究科 企画セッション</p>	<p>立命館テクノロジー・マネジメント研究科 企画セッション</p>	<p>2F09 アメリカの科学技術イノベーション政策をめぐるダイナミズム: SBIRプログラム設置の歴史的背景 ○ヤング吉原麻里子</p>		<p>2H09 ハイテク中小企業群におけるR&amp;D性向とイノベーションに関する調査研究 ○鈴木勝博(東工大)</p>		<p>企画セッション 続き</p>	11:30
11:45				<p>研究発表セッション (発表15分、質疑応答5分)</p> <p>企業間連携による共同開発におけるフェーズフロントエンド段階での重要事項について ○櫻井克己, 名取隆(立命館大)</p>	<p>広報・教育紹介セッション (発表25分、質疑応答5分)</p> <p>立命館MOTの目指すイノベーション学の確立とイノベーションリーダー養成のための実践型教育 ○青山 敦(立命館大)</p>						<p>2F10 討論</p>
12:00				<p>中小製造企業の新規事業開発における市場の不確実性の削減: “Planned Happenstance Theory”の適用についての考察 ○大谷隆児, 名取隆(立命館大)</p> <p>医療専門職認定制度についての提案—診療放射線技師認定専門技師の事例— ○片桐邦彦, 名取隆(立命館大)</p>	<p>立命館MOTならではの科目『プラクティカム』—ビジネスの場で理論を実践 ○高梨千賀子(立命館大)</p>				12:00		
12:30											12:30

10月19日(日) 13:00~14:00

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
13:00	<p>一般講演 (ホットイシュー) グローバル・ニッチト ップ企業のイノベーション 戦略</p> <p>座長 福谷正信</p> <p>2A15 GNT企業の事例研 究 ○中山晴生(立命 館アジア太平洋 大)</p>	<p>一般講演 科学技術イノベーション 政策の諸課題</p> <p>座長 伊神正貴</p> <p>2B15 イノベーション支 援政策の立案と持 続的展開(事例: 三重県「地域資源 活用型医薬品等開 発促進事業」) ○後藤芳一(東 大), 樋口奈津 子, 土性千恵, 高 村 康, 増田直樹 (三重県), 竹川 智子(フアン)</p>	<p>一般講演 知的財産</p> <p>座長 江藤 学</p> <p>2C15 秘密情報の保護制 度の在り方に関す る一考察 ○加藤 浩(日 大)</p>	<p>一般講演 技術経営(事例・ビジネ スモデル・事業化)③</p> <p>座長 玉田俊平太</p> <p>2D15 企業による復興事 業事例①:ものづ くりの技術で高機 能野菜に挑む! ○川島 啓, 中村 研二(日本経済研 究所), 佐賀 浩 (北海道東北地域 経済総合研究 所), 佐藤清志 (復興庁)</p>	<p>一般講演 人材</p> <p>座長 福澤尚美</p> <p>2E15 半導体産業を中心 とした技術系人材 の育成環境の課題 ○小沼良直(未来 工研)</p>	<p>一般講演 (ホットイシュー) 第5期科学技術基本計 画策定に向けた政策分 析④</p> <p>座長 小笠原 敦</p> <p>2F15 日本の論文数はな ぜ減少したのか: その前に「なぜ論 文を書くのか」 ○飯嶋秀樹(同志 社大), 山口栄一 (京大)</p>	<p>一般講演 分析と評価③</p> <p>座長 調 麻佐志</p> <p>2G15 産業の集積と生産 性に関する研究一 都道府県別データ を用いた実証分析 ○湯舟勇介, 梶山 朋子, 大内紀知 (青学大)</p>	<p>一般講演 研究・イノベーション政 策②</p> <p>座長 大津留 榮佐久</p> <p>2H15 事後評価結果から 見たNEDOプロジェ クトの特徴 ○加藤知彦 (NEDO), 柴山創 太郎, 馬場靖憲 (東大)</p>	<p>一般講演 技術経営(戦略・R&amp;Dマ ネジメント)④</p> <p>座長 藤原孝男</p> <p>2I15 研究コンソーシア ムの効果—公的研 究開発プログラム における成果特許 の実証研究— ○吉岡(小林) 徹 渡部俊也(東 大)</p>	<p>一般講演 産官学連携・地域②</p> <p>座長 七丈直弘</p> <p>2J15 「東京大学大健イ ノベーション協創 事業」における 産学公民連携 ○太田与洋, 黒倉 壽, 鎌田 実(東 大)</p>	13:00
13:15	<p>2A16 GNT企業のイノ ベーション戦略— 日本型の特性を生 かしたグローバル 化推進の一考察— ○高橋 浩(北陸 先端大)</p>	<p>2B16 大規模組織におけ る知識移転:知識 仲介人の知識賛同 要因の分析 ○伊藤朝陽, 白肌 邦生(北陸先端 大)</p>	<p>2C16 国立大学の特許の 特色:発明者と技 術領域の分析 ○細野光章 (NISTEP/東工 大), 中山保夫 (NISTEP)</p>	<p>2D16 製造業における産 業集積と生産性 ○中西敏之(神戸 大)</p>	<p>2E16 研究者のNIH研究 プロジェクトへの 参画とネットワー ク形成 ○山下泰弘(山形 大), 吉永大祐 (東工大)</p>	<p>2F16 科学技術イノベ ーション政策にお ける歴史的俯瞰と構 造化 ○赤池伸一 (NISTEP/文科 省), 吉村哲哉 (三菱総研), 松 尾敬子(JST)</p>	<p>2G16 環境政策の環境保 全効果を向上させ る地域基盤に関す る研究 ○朝日遥子, 梶山 朋子, 大内紀知 (青学大)</p>	<p>2H16 高付加価値産業へ の新たな社会イン フラ事業戦略とそ の展開 ○旭岡敬峻(社会 インフラ研究セン ター)</p>	<p>2I16 オープン・クロー ズド設計による 三位一体(事業戦 略・技術戦略・知 財戦略)の戦略論 ○岩本 隆(慶 大), 楠浦崇央, 橋本純一, 富松大 介 (TechnoProducer )</p>	<p>2J16 産学連携推進にお けるコミュニケー ションに関する一 考察 ○筧 一彦(東 大)</p>	13:15
13:30	<p>2A17 グローバルニッチ トップ企業の企業 戦略の特性の類型 化の試み ○吉村哲哉(三菱 総研)</p>	<p>2B17 ボトムアップ型イ ノベーション支援 政策の立案と持続 的展開(事例: 「サボイン制度 (利用実績と改変 の経緯)」) ○平井淳生, 潮 高史(経産省・中 小企業庁), 後藤 芳一(東大)</p>	<p>2C17 材料分野の科学技 術開発と素材の物 質特許について ○東野博文(弁理 士)</p>	<p>2D17 企業による復興事 業事例②:石巻 発!世界一の藻類 バイオマス燃料技 術を確立する ○川島 啓, 中村 研二(日本経済研 究所), 佐賀 浩 (北海道東北地域 経済総合研究 所), 佐藤清志 (復興庁)</p>	<p>2E17 平成26年版科学技 術白書について ○篠原千枝(文科 省)</p>	<p>2F17 「科学技術イノ ベーション政策の 科学」の俯瞰・構 造化の具体化に向 けた検討 ○己斐裕一, 佐野 多紀子, 松尾敬 子, 星野悠哉 (JST)</p>	<p>2G17 わが国の太陽電池 の価格低減に対す る研究開発と導入 助成の寄与度 ○遠藤栄一(産総 研)</p>	<p>2H17 製品レイヤーを考 慮した計量書誌分 析に関する研究 ○高野泰朋, 梶川 裕矢(東工大)</p>	<p>2I17 意匠情報に基づく デザイン評価の試 み ○勝本雅和, 大西 麻未(京都工芸織 維大)</p>	<p>2J17 次世代製造技術の 研究開発:ドイツ の事例 ○澤田朋子 (JST)</p>	13:30
13:45	<p>2A18 GNT企業の経営と 可能性 ○藤本武士, 大竹 敏次(立命館アジ ア太平洋大)</p>	<p>2B18 ボトムアップ型イ ノベーション支援 政策の立案と持続 的展開(事例: 「サボイン制度 (設置目的と政策 の意義)」) ○後藤芳一(東 大), 潮 高史, 平井淳生(経産 省・中小企業庁)</p>	<p>2C18 日本特許出願の公 開前における権利 化の動向 ○正井純子</p>	<p>2D18 「お菓子工場に変 身した小学校」— 廃校施設を有効活 用する取り組み ○樋口元信(山口 油屋福太郎)</p>	<p>2E18 日本のイノベ ーションシステム における高等専門学 校の機能の検討 ○澤浦文章(国立 高専機構/筑波 大)</p>	<p>2F18 我が国の研究費制 度に関する俯瞰 的・基礎的検討へ のアプローチ ○佐藤 靖, 佐野 多紀子, 松尾敬 子, 有本建男 (JST)</p>	<p>2G18 Chemical Abstractsに着目 した化学の動向分 析に関する考察 ○林 和弘, 白川 展之, 小笠原敦 (NISTEP)</p>	<p>2H18 公設試験研究機関 における評価活動 と組織改編の実態 永田晃也, ○小林 俊哉, 長谷川光 一, 諸賀加奈, 栗 山康孝(九大)</p>	<p>2I18 高度な知識集約社 会を目指すシンガ ポールの人材育成 について ○氏家佐江子 (SBFコンサル ティング)</p>	<p>2J18 次世代製造技術の 研究開発:EUの事 例 ○山下 泉 (JST)</p>	13:45

14:00

14:00

10月19日(日) 14:00～15:00

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
14:00	<p>2A19 データから見るGNT企業の特徴 ○小沼良直(未来工研)</p>	<p>2B19 産総研におけるワーク・ライフ・バランス支援(7) ○山田 理, フェドロフ ドミトリ, 加藤 進, 鈴木麻理, 青木真理子(産総研)</p>	<p>2C19 製薬産業における強制実施権の産業への影響—インドネシアにおける政府使用の設定 ○三森八重子(筑波大)</p>	<p>2D19 企業による復興事業事例④: 間伐材を活用した高級杉割り箸で林業と地域を再生 ○川島 啓, 中村研二(日本経済研究所), 佐賀 浩(北海道東北地域経済総合研究所), 佐藤清志(復興庁)</p>	<p>2E19 後期中等教育から高等教育に到る期間における、人材育成取り組みに関する工夫について—特に女性人材育成支援の観点から— ○若月 聡(東京理科大/東邦大/日大), 若月温美(東葉高等学校/千葉大)</p>	<p>2F19 科学技術イノベーション政策及び予算の俯瞰に向けた取り組み ○松尾敏子, 有本建男, 佐藤 靖, 佐野多紀子(JST)</p>	<p>2G19 オントロジー工学を用いた持続可能で心豊かな暮らし方の構造分析—宮城の事例— ○若林雄介, 古川柳蔵, 須藤祐子(東北大)</p>	<p>2H19 公設試験研究機関における広域連携の実態 ○小林俊哉, 永田晃也, 長谷川光一, 諸賀加奈, 栗山康孝(九大)</p>	<p>2I19 新興国における企業の研究開発—高度人材の獲得— ○藤原綾乃, 渡部俊也(東大)</p>	<p>2J19 PPPフロンティア—豊かな社会を創るためにPPPができること ○阿部仁志(沖電気工業/東洋大), 後藤礼彦(竹中工務店), 木佐貞正博(RPI)</p>	14:00
14:15	<p>2A20 グローバル・ニッチトップ企業における成長戦略—日独GNT企業の比較分析— ○難波正憲, 福谷正信, 牧田正裕, 藤本武士(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>2B20 研究活動における大学間連携の現状と課題 ○原田健太郎(徳島大)</p>	<p>2C20 GPU IPベンダの知的財産戦略に関する一考察 ○上條由紀子(金沢工大), 大津留榮佐久(福岡県産業・科学技術振興財団), 川村竜登(金沢工大)</p>	<p>2D20 企業による復興事例④: 温泉旅館の調理部門改革をベースにしたビュッフェダイニング運営で風評被害克服に挑戦 ○中村研二, 川島啓(日本経済研究所), 佐賀 浩(北海道東北地域経済総合研究所), 佐藤清志(復興庁)</p>	<p>2E20 女性研究者の増加が研究成果に与える影響: 試行的分析と考察 ○加藤真紀(横国大)</p>	<p>2F20 「重要施策データベース」に見る科学技術情報政策 ○前田知子(政策研究大学院大)</p>	<p>2G20 INSEADにおけるグローバルイノベーションインデックス(GII)の変遷と日本の順位 ○神田由美子(NISTEP)</p>	<p>2H20 ナノテク・先端部材実用化研究開発における制度設計の分析 ○橋本 薫, 今西大介(NEDO)</p>	<p>2I20 製薬企業のオープンイノベーションの規定要因: 創薬と創剤の比較 ○鈴木博文(名古屋商科大), 伊佐田文彦(関西大)</p>	<p>2J20 地域大学発技術シーズの実用化に関する考察—弘前大学のプロテオグリカンと香川大学の希少糖の比較分析— ○野澤一博(NISETP)</p>	14:15
14:30	<p>2A21 ドイツにおける産学公連携とイノベーション—クラスタ—ブラウンホーファーの研究所を中心として— ○挾間壽文(産総研)</p>			<p>2D21 企業による復興事例⑤: 「売る」を科学し、衣料品補修から「お直しコンシェルジュ」へ ○中村研二, 川島啓(日本経済研究所), 佐賀 浩(北海道東北地域経済総合研究所), 佐藤清志(復興庁)</p>	<p>2E21 我が国の女性研究者のアカデミックキャリアパスに関する考察 ○山下恭範(文科省)</p>	<p>2F21 科学技術白書における重要施策のデータベース化と政策分析 ○岸本晃彦(NISTEP), 赤池伸一(文科省), 富澤宏之(NISTEP)</p>	<p>2G21 研究成果の「卓越性」指標の多様性 ○林 隆之, 土屋俊(大学評価・学位授与機構)</p>	<p>2H21 日本で有機農法の普及が進まない理由—TISフレームに基づく有機農法の検討— ○藤井雅雄, 三藤利雄(立命館大)</p>	<p>2I21 プラットフォーム・ビジネスにおけるダイナミック・ケイパビリティの実証研究 ○前川拓滋(名古屋商科大), 伊佐田文彦(関西大)</p>	<p>2J21 京都大学における産官学連携活動についての考察—公的研究開発事業の観点から— ○桑島修一郎(京大)</p>	14:30
14:45	<p>2A22 「おもてなし」型価値共創の視点(第4報)—スロベニアにおける宿泊・ツーリズムのイノベーション事例研究より ○中村孝太郎(イー・クラフト/北陸先端大), Tina Hedi Zakonjsek (Bank of Tourism Potentials in Slovenia)</p>					<p>2F22 デルファイ調査分析システム Delphinの構想と開発 ○小柴 等, 林和弘, 重茂浩美(NISTEP), 古川貴雄(共立女子大), 小笠原敦(NISTEP)</p>	<p>2H22 イノベーション政策における公共部門の役割の変容: フィンランドにおける「イノベーションのための公共調達」政策の事例分析 ○徳丸直穂(名工大)</p>	<p>2I22 知識社会基盤への転換期における「知識産業革命」とその事業戦略 ○旭岡敬峻(社会インフラ研究センター)</p>		14:45	

15:00

15:00

10月19日(日) 15:00～15:45

	A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)	
15:00	<p>2A23 地域における食料 品製造業の高付加 価値化 ○金間大介(北海 道情報大)</p>	<p>一般講演 産官学連携・地域③ 座長 齋藤 裕美</p> <p>2B23 国立大学における 研究開発の選択と 集中の事例報告 (山形大学におけ る有機エレクトロ ニクス研究を巡る 拠点化について) ○佐野多紀子 (JST)</p>	<p>一般講演 技術経営(事例・ビジネ スモデル・事業化)⑤ 座長 古川 柳 敬</p> <p>2C23 「植物工場ビジネ ス」の多様性ービ ジネスの価値形成 構造をモデル化す るー ○伊藤宏比古, 妹 尾堅一郎(産学連 携推進機構), 川 村兼司(帝人)</p>	<p>一般講演 技術経営(事例・ビジネ スモデル・事業化)④ 座長 川島 啓</p> <p>2D23 企業による復興事 業事例⑥: 伝統産 業を極め、様々な 分野への展開可能 性に挑戦 ○佐賀 浩(北海 道東北地域経済総 合研究所), 中村 研二, 川島 啓 (日本経済研究 所), 佐藤清志 (復興庁)</p>	<p>一般講演 科学と社会 座長 標葉 隆馬</p> <p>2E23 大学・学協会の社 会的責任論 ○吉澤 剛(阪 大)</p>	<p>2F23 日本の研究の多様 性を測るーサイエ ンスマップを用い たSci-GE0チャー トの提唱ー ○阪 彩香, 伊神 正貴(NISTEP)</p>	<p>一般講演 技術経営(教育・育成) 座長 加藤 浩</p> <p>2G23 地域コンソーシア ムによる地域活性 化を目的とした企 業人材育成事業 ○西川洋行(県立 広島大)</p>				15:00
15:15	<p>2A24 地方のGNT企業の 経営ー内山工業 (株)を事例とし てー ○戸前壽夫(岡山 大)</p>	<p>2B24 「地域技術」政策 の展開と課題 (4) ○佐脇政孝(産総 研)</p>	<p>2C24 「機能性保持・形 態変容型」加工技 術の可能性ー食品 産業における多様 な新加工技術とビ ジネス動向を踏ま えてー ○檜山喜章, 妹尾 堅一郎(産学連携 推進機構)</p>	<p>2D24 企業による復興事 業事例⑦: 電子部 品製造業からス イーツづくりへの 参入 ○佐賀 浩(北海 道東北地域経済総 合研究所), 中村 研二, 川島 啓 (日本経済研究 所), 佐藤清志 (復興庁)</p>	<p>2E24 大型加速器を用い た大規模物理学実 験における論文生 産システムと報奨 ○足立枝実子, 伊 藤泰信, 梅本勝博 (北陸先端大)</p>	<p>2F24 討論</p>	<p>2G24 実用化支援開発機 能を担う技術者の 育成システムの分 析 ○根本正博(日本 原子力研究開発機 構)</p>				15:15
15:30	<p>2A25 討論</p>	<p>2B25 地域発のライフ・ イノベーションへ の実践的取組みー 三重県、規制当局 による医薬品開発 支援(第二報)ー ○樋口奈津子, 土 性千恵, 高村 康, 増田直樹(三 重県), 竹川智子 (フラン), 後藤 芳一(東大)</p>	<p>2C25 機能性食材におけ る古典・古典近 似・古典相似モデ ルー生物由来機能 性素材事業におけ るビジネスと知財 マネジメントー ○久保恵美, 妹尾 堅一郎(産学連携 推進機構)</p>	<p>2D25 感覚的便益を実現 する製品開発 ○氏田壮一郎(関 西学院大学大)</p>	<p>2E25 ImPACT等のハイ リスク研究にみる回 収スパンと財務当 局との調整事例を 参考にー Transformative Research評価理念 文化へのキャピタ ルゲイン型クラウ ドファンディング による潜在シーズ の政策エビデンス 化と対話基盤を用 いた受益者自身に よる潜在ニーズの 配当創出とのマッ チングの可能性と 課題ー ○鈴木羽留香(立 命館大)</p>		<p>2G25 地域の技術系企業 と連携した技術経 営専門職大学院に おける実践的演習 の取組み ○板谷和彦(東京 農工大)</p>				15:30

15:45

15:45

10月19日(日) 15:45~16:00

A会場 (1階 P105教室)	B会場 (1階 P106教室)	C会場 (1階 P107教室)	D会場 (1階 P108教室)	E会場 (1階 P109教室)	F会場 (1階 P110教室)	G会場 (1階 P111教室)	H会場 (1階 P112教室)	I会場 (1階 P113教室)	J会場 (1階 P114教室)
	<p>2B26            国立大学法人における産学連携活動実績と学内外の特性との関係            ○野田誠一(岐阜大)</p>	<p>2C26            生産場」か、「実験場」かー「植物工場」の意味を再考・整理するー            ○妹尾堅一郎, 伊藤宏比古(産学連携推進機構), 川村兼司(帝人)</p>	<p>2D26            リニアモデルにとらわれないイノベーション創出スパイラルモデル(技術マーケティング「TM4P」モデルによるマイクロ・エコシステム形成)            ○大津留榮佐久(福岡県産業・科学技術振興財団)</p>	<p>2E26            スイスのイノベーションカー第二報            ○江藤 学(一橋大)</p>					

15:45

15:45

16:00

16:00

## 第 29 回年次学術大会実行委員会

委員長	名取 隆	立命館大学 MOT 大学院テクノロジー・マネジメント研究科
委員	石田 修一	同上
	玄場 公規	同上
	高梨千賀子	同上
	三藤 利雄	同上

共催：立命館大学 MOT 大学院テクノロジーマネジメント研究科

協賛：IEEE Technology Management Council Japan Chapter

### 第 29 回年次学術大会 講演要旨集 CD-ROM

8,000 円

2014 年 10 月 18 日 発行

編集 研究・技術計画学会  
第 29 回年次学術大会実行委員会  
発行 〒135-8473 東京都江東区深川 2-6-11  
富岡橋ビル 4 階  
公益財団法人未来工学研究所 気付  
研究・技術計画学会 山本 眞一  
TEL/FAX: 03-5620-0577  
郵便振替口座 00160-4-70197  
銀行振込口座 三井住友銀行渋谷駅前支店  
普通 0206284

CD 制作 レタープレス株式会社

本要旨集の内容の一部あるいは全部を無断で複製すると、  
著作権および出版権侵害となることがありますのでご注意  
ください。